

# 寒河江川さぼう

国土交通省 東北地方整備局  
新庄河川事務所  
寒河江川砂防出張所  
安全安心な地域づくり  
第45号 平成24年3月

## 管内工事状況報告



地域の皆様のご協力により今年度の工事につきましては無事終了いたしました。昨年12月に終了した見附砂防堰堤と、志津地区の集水井工についてご紹介させていただきます。

来年度も引き続き安全施工に努めて参りますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



### 見附砂防堰堤改良工事

昨年度は土石流を効率的に捕捉するためのスリット（すきま）工事を行いました。

本年度は、流下する土砂等がスリットに集中することで摩耗するのを防止する補強工事を行いました。

補強工事を行うときには、河川が増水しても作業場所が流されたりしないように棧橋をかけたり、締切を製作して工事を安全に行いました。

施工前（堰堤上流より撮影）

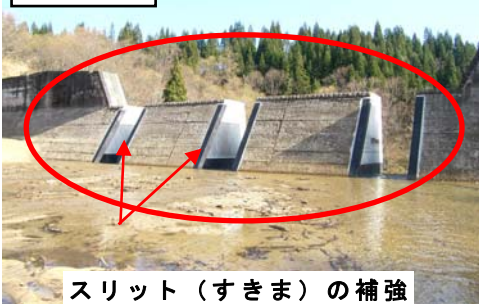


棧橋



製作した締切

施工後



スリット（すきま）の補強



工事の様子

地域の皆さま、今年度もご協力ありがとうございました。



かんぼう

地域のみなさまには引き続き、事業に対するご理解・ご協力をお願い申し上げます。  
お気づきの点は寒河江川砂防出張所（担当：技術係）までお知らせ下さい。

志津地区の地すべりを防止するために、過剰な地下水の排除を目的とした工事が進められ、集水井7基、横ボーリング3ヶ所を施工しました。

地表又は掘削した井戸(集水井)の内部から長さ約50mの水平ボーリングを扇状10本程度行い、挿入した細い管で過剰な地下水を排出しました。



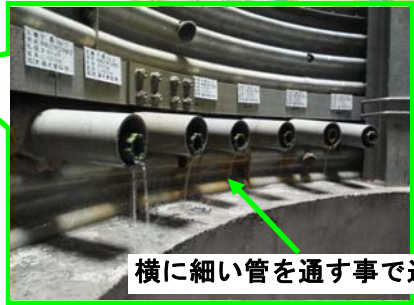
集水井(井戸内部から)



横ボーリング(地表から)



集水井の内部(地下約14m)



横に細い管を通す事で過剰な地下水を排出

## なだれ 雪崩の危険、知っていますか？

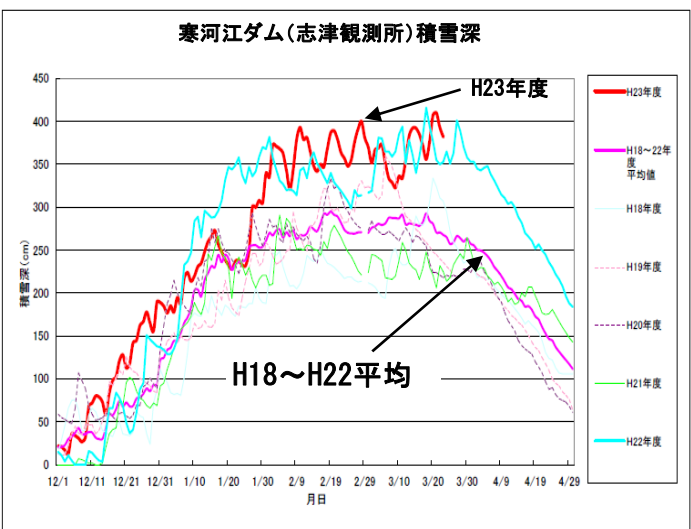
今冬は例年にもまして非常に積雪の多い冬となりました。それにより各地で雪崩(なだれ)が発生し、尊い命が失われる事故も発生しています。

昨年2月27日には国道112号線で大規模な全層雪崩が発生しました。

特に降雪や降雨の後、天気が良く気温が上がったときは全層雪崩が発生しやすくなりますので、積雪が多い斜面では注意しましょう。



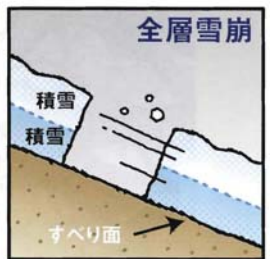
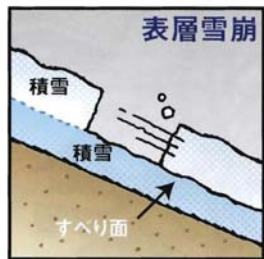
こんなとき... 雪崩の危険信号です。



今年度は過去5年でも積雪が多くなっています。

### 雪崩の種類

雪崩とは山腹に積もった雪が重力の作用によって、崩れ落ちる現象をいいます。また、すべり面の位置の違いによって大きく表層雪崩と全層雪崩の2つに分けられます。



昨年2月に発生した国道112号(月山IC付近)での雪崩



雪崩が発生した現場の現在の状況

所内アンケート  
調査に基づく

# 新庄河川事務所 2011 (平成23年) 10大ニュース

1位

3. 11東日本大震災発生、被災地へ職員・機材等を派遣、様々な影響も <3~6月>

被災した女川町



リエゾン

提供物資(洗濯機)

2位

庄内町立谷沢濁沢川で大規模な深層崩壊発生、緊急対策、無人化施工も <5~12月>

無人化バックホウ

崩落斜面全景



遠隔操作

5号砂防堰堤までで全て捕捉

濁沢川

3位

記録的豪雨で出水相次ぐ、河岸崩壊多発 <5~9月>

4位

高度技術支援で近畿地方整備局等へ職員派遣 <3・9月>

5位

河川改修に大幅予算、築堤整備進捗

6位

鮭川流域2町1村で大規模土砂災害危機管理演習 <11月15日>

7位

洪水備え水防技術講習会、こども園で避難訓練 <7・9月>

8位

地元要望の荒沢トンネル、赤砂川取水ポンプ等完成 <12月>

9位

赤川砂防・消流雪用水等の事業評価で継続承認 <11月>

10位

鳥海山火山噴火緊急減砂防計画検討委員会 <12月>

7位

洪水備え水防技術講習会、こども園で避難訓練 <7・9月>

8位

地元要望の荒沢トンネル、赤砂川取水ポンプ等完成 <12月>

9位

赤川砂防・消流雪用水等の事業評価で継続承認 <11月>

10位

鳥海山火山噴火緊急減砂防計画検討委員会 <12月>

次点

多自然川づくり技術発表会で最優秀賞受賞 <11月>



## 本道寺地区新春地域づくり講演会で花岡事務所長講演



1月21日に本道寺地区の新春講演会におきまして、「2011年の自然災害の実態と、国土交通省そして地域の対応について」と題して花岡新庄河川事務所長による講演が行われました。

東日本大震災における国土交通省の対応と、土砂災害への総合的な対策について土石流や地すべりの映像等を交えた説明に、当日お集まりいただいた地区の皆さんは熱心に聞き入っておられました。

参加者の方から志津地区の地すべりや地域の防災に関する質問等が多数寄せられました。



## 現場技術者による「安全施工技術」研究発表会が開催されました

新庄河川事務所事故防止対策委員会では、現場技術者の技術向上を図り、工事事故の未然防止を目指すために毎年研究発表会を実施しています。第16回目となる今年度は、2月22日に新庄市民プラザにて開催され、寒河江川砂防出張所管内の施工工事・業務からは下記の5題の発表がありました。

優秀賞

- 砂防工事における仮設工の出水対策について 升川建設(株) 清水 敏樹
- 現場調査時の物損公衆事故回避 日本工営(株) 小川 洋
- 砂防地質調査における自然環境に対応した安全対策 川崎地質(株) 菊山 浩喜

優秀賞

- 孔内傾斜計のガイド管設置時における品質確保の取り組み 応用地質(株) 菖蒲 幸男

奨励賞

- 地すべり区域内における安全対策について 國井建設(株) 佐藤 良信
- ※上記論文及び、応募がありました論文は新庄河川事務所のホームページにてご覧頂けます。  
新庄河川事務所HPアドレス <http://www.thr.mlit.go.jp/shinjyou/>





# しづ ゆき はたご 志津雪旅籠の灯り

～パネルと映像上映  
ブース出展～



2月24日・25日・26日と3月2日・3日・4日に西川町志津温泉街にて

「第7回雪旅籠の灯り」が開催されました。

自然に降り積もった雪を堀込んで旅籠を作製し、昔の宿場町を再現する豪雪地帯の自然を活かしたイベントです。

当出張所でも展示ブースを設け、パネル展及びビデオ映像上映により、東日本大震災への対応や、月山山麓の自然と地すべりについて紹介しました。

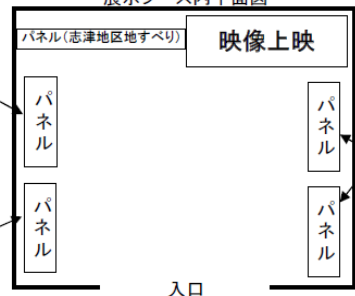


展示ブースには多くの方々  
にご来場いただきました



自然と地すべり  
月山山麓の  
東日本大震災  
への対応

展示ブース内平面図



雪崩等の雪氷災害に  
関するパネル  
(雪氷防災研究セン  
ターより提供)

## 積雪期における震災対応防災訓練を実施

3月9日、東日本大震災から一年の節目となる3月11日を前に、大きな課題となっていた積雪の多い時期の施設点検を主とする総合防災訓練を実施しました。なお施設点検については、出張所管内で震度4以上の地震が発生した場合に実施することとされています。

当日は無積雪に比べ点検が難しい状況下で迅速に状況が把握できるようCCTV（自動監視カメラ）の活用やスノーシューを履いての巡視点検、重要施設で近くまで行くことができない箇所については、下流から遠眺したり流水の濁りを確認することで異常の判断等を行いました。

また、今回鮭川管内にてスノーモービルによる巡視点検が実施され、今後活用を検討しています。



スノーモービルによる巡視点検  
(鮭川管内で実施)



徒歩及びかんじきを履いて  
の砂防巡視点検

### 皆さんの声をお待ちしています

本誌をご覧いただいた感想や砂防事業、国土交通省の事業へのご意見、ご質問等をお寄せください。 担当：事務係 遠藤

〒990-0702 西川町大字海味字下モ山916-2

寒河江川砂防出張所

TEL 0237-74-2366 FAX 0237-74-2801

新庄河川事務所のホームページもご覧下さい。

HPアドレス <http://www.thr.mlit.go.jp/shinjyou/>